

## はじめに



市民の皆さんには、日ごろから市のまちづくりに対して深いご理解とご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

さて、本市をめぐるまは、ヨーロッパでの金融不安による急激な円高などの影響もあり、雇用・経済情勢は、引き続き、厳しい状況が続いています。

厳しい状況が続く中ですので、なかなかよく目を凝らさないと見つけにくいわけですが、よく目を凝らせば、私は新しい時代につながる希望や発展の芽が、市民の皆さんによってたくさん育まれつつあると感じております。

このような中、現状をしっかりと受けとめながら、同時に、新市8年間の成果と課題の上に、市民一人ひとりの真の喜びと幸福、『市民総幸福』の最大化と限らない増進・発展を今期の大きな指針として展望し、それを目指しながら「市民総参加」のまちづくりを実現してまいりたいと思います。

来年は丹後建国1300年という節目の年を迎えます。市民の皆さんが総参加でまちづくりに参画いただき、誰一人として置き去りにされない、市民全員みな兄弟の里づくり、「ありがとう」「おかげさま」の心があふれるような京丹後市をみなで力を合わせて実現してまいりたいと考えております。

市の予算は市民生活に多大な影響を及ぼす行政サービスの大要を定めるものですが、そもそも市民のものであり、市は予算の内容をわかりやすく説明する責任があります。

平成24年度の予算に計上した京丹後の仕事の主な内容をわかりやすくお知らせし説明するため、例年に引き続き、平成24年度「わかりやすいことしの予算」を発行することとしました。

この冊子では、図表や写真を活用し、行政用語や専門用語をできるだけわかりやすい言葉で説明するように心がけました。また、京丹後市の財政状況をグラフなどで示し、市の台所事情を少しでも理解していただけるようにしています。行政と市民の皆さんが力をあわせて、より良いまちづくりを進めるきっかけとなれば幸いです。

平成24年7月

京丹後市長 中山 泰

表紙写真：KTR企画列車（5月）に手を振る大宮北保育所の子どもたち

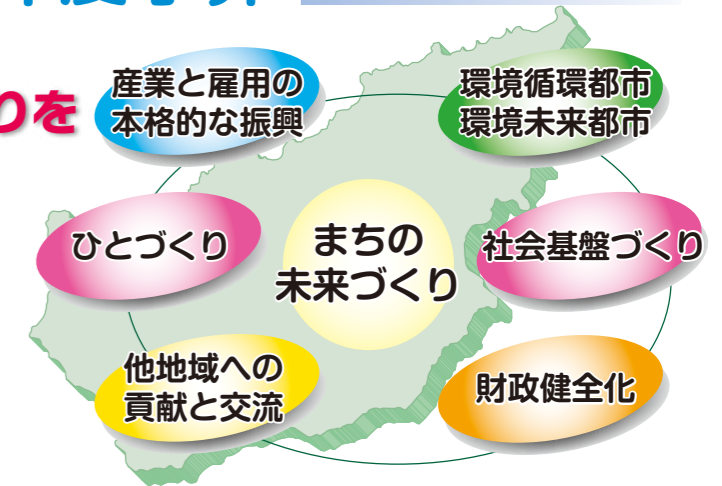
# 平成24年度予算

産業・雇用・生活を全力で支え  
市民の笑顔あふれるまちづくりを  
進める予算

一般会計予算 (6月補正後)

316億1,978万円

(対前年度比 1.1%増)



## 平成24年度 会計別予算規模

会計名称	平成24年度 6月補正後	平成24年度 当初予算	平成23年度 当初予算	平成23年度との比較	
一般会計	316億1,978万円	306億3,000万円	312億6,500万円	3億5,478万円 (1.1%)	
特別会計	国民健康保険事業	71億円	71億円	70億6,500万円	3,500万円 (0.5%)
	国民健康保険直営診療所事業	4億2,959万円	4億2,900万円	4億600万円	2,359万円 (5.8%)
	後期高齢者医療事業	6億3,600万円	6億3,600万円	5億8,860万円	4,740万円 (8.1%)
	介護保険事業	55億5,301万円	55億4,800万円	51億2,800万円	4億2,501万円 (8.3%)
	介護サービス事業	6億9,900万円	6億9,900万円	6億9,500万円	400万円 (0.6%)
	簡易水道事業	13億3,100万円	13億2,100万円	11億5,500万円	1億7,600万円 (15.2%)
	集落排水事業	3億9,900万円	3億9,900万円	4億7,300万円	△7,400万円 (△15.6%)
	公共下水道事業	26億9,000万円	26億9,000万円	27億5,800万円	△6,800万円 (△2.5%)
	浄化槽整備事業	2億8,100万円	2億8,100万円	2億1,100万円	7,000万円 (33.2%)
	工業用地造成事業	1億9,680万円	1億9,680万円	1億8,250万円	1,430万円 (7.8%)
	宅地造成事業	3,560万円	3,560万円	3,530万円	30万円 (0.8%)
	峰山財産区	660万円	660万円	670万円	△10万円 (△1.5%)
	五箇財産区	170万円	170万円	190万円	△20万円 (△10.5%)
特別会計合計	193億5,930万円	193億4,370万円	187億600万円	6億5,330万円 (3.5%)	
企業会計	水道事業	14億9,804万円	14億9,804万円	12億9,369万円	2億435万円 (15.8%)
	病院事業	73億4,480万円	71億9,255万円	67億8,577万円	5億5,903万円 (8.2%)
	企業会計合計	88億4,284万円	86億9,059万円	80億7,946万円	7億6,338万円 (9.4%)
京丹後市総合計	598億2,192万円	586億6,429万円	580億5,046万円	17億7,146万円 (3.1%)	

※24年度当初予算が骨格予算のため、対前年比は23年度当初予算と24年度6月補正後の比較としています。

平成24年度当初予算は、市長選挙の実施に伴い骨格予算として編成し、6月定例会において政策的な経費などを肉付け計上したことから、6月補正後の予算をベースに「わかりやすいことしの予算」を作成しました。総額は、前年度当初予算と比較すると17億7,146万円、3.1%の増となっています。一般会計では、3億5,478万円、1.1%の増としています。

**一般会計とは** 市税や地方交付税などを主な財源として、福祉や教育、道路や公園の整備など、さまざまな分野の仕事を行うための会計で、多くの事業やサービスは、この一般会計で行っています。

**特別会計とは** 国民健康保険や公共下水道のように、保険税や使用料などの特定の収入により特定の事業を行うため、一般会計と区分するために設けられている会計です。

**公営企業会計とは** 地方公営企業法の適用を受けて、地方公共団体が経営する水道や病院事業のように、その事業収入により経営を行うために設けられている会計です。

**骨格予算とは** 市長や議会議員の改選を目前に控えている場合などに、新年度の予算編成は新体制で行うという考えから、だれが市長になっても必ず予算化する必要がある、扶助費や公債費などの義務的経費を主体として、政策的経費や新規事業は極力盛り込まないで編成した予算のことです。